

事業報告

I. 実施報告

1. 当公益財団法人動物臨床医学研究所の事業主体である「学術及び科学技術の振興」と「人と動物の共生の探求及び動物愛護思想の啓発普及」の二大事業を中心に、それぞれの事業に関連した当初の目標の達成に努力し、いずれの事業も計画通り実施でき、さらなる充実と前進をみた。
2. 「学術及び科学技術の振興」を目的とする主事業の「動物臨床医学会」のさらなる充実と臨床獣医師を中心としたレベルアップを図るために、平成 27 年度に立ち上げた「獣医総合臨床認定医制度」のさらなる充実を目指し、第 38 回動物臨床医学会年次大会にてポイント対象プログラムの内容を考慮した。また、第 39 回大会に向けて、試験問題作成委員会を立ち上げ、試験に向けた具体的な活動を開始した。
3. 臨床獣医学で大きく諸外国に遅れをとっている分野は、遺伝病である。我国では、遺伝病に対する研究や、検査体制が不十分であるため、第 38 回動物臨床医学会年次大会の中に「動物遺伝子疾患研究会」を立ち上げ、動物遺伝子疾患研究会設立記念シンポジウムを開催した。
4. 昨年度に引き続き、全国の動物看護専門学校及び、動物看護師・動物看護系学生、の要望に応じて、動物臨床医学会の中での動物看護関係の企画の充実を図った。具体的には動物看護関係者への知識の向上のために知っておくべき事項についてのセミナー、さらに動物看護師・動物看護系学生のためのセミナー等を開催しパラメディカル分野の向上発展に寄与した。
5. 臨床獣医学の発展のための、獣医診療における診断・治療機器の開発と技術の確立を推し進めた。具体的には動物用医療機器開発を目的とする腫瘍細胞などの選択的な殺傷方法の研究を民間会社と共同で実施した。
6. 「人と動物の共生の探求及び動物愛護思想の啓発・普及」事業の充実のため、「人と動物の未来センター・アミティエ（鳥取県動物愛護センター）」の施設の活動を多くの方に認識して頂くため、広報活動や各種イベントを展開した。
また、施設拡充のための新館を完成させた。
7. 獣医師やそれに関連する職域の方々に役立つ獣医学専門書の発刊に向けた活動を展開した。

II. 事業別の対応

公益目的事業 1

学術及び科学技術の振興を目的とする事業

- 1) 獣医学術の振興・普及及び向上のため、動物臨床医学会の開催及び運営、動物臨床医学雑誌の出版、動物臨床医学会プロシーディングを発行し、他学会、研究会との連携及び運営支援、獣医学術における功労者表彰や研究会等の運営を実施した。

さらに、平成 27 年度に立ち上げた「獣医総合臨床認定医」制度を広めると共に、より学会の充実を図った。

a) 第 38 回動物臨床医学会年次大会の開催及び運営

H29. 11. 17-19 (於：大阪国際会議場 [グランキューブ大阪])

内 容：市民公開特別講演、市民公開シンポジウム、クリニカルシンポジウム (内科, 外科)、ベーシックセミナー (20 セミナー)、ステップアップセミナー (18 セミナー)、アドバンスセミナー (17 セミナー)、パネルディスカッション (16 セミナー)、ドライラボ (4 セミナー)、企業・獣医師向けセミナー、一般口演 (16 題)、症例検討 (169 題)、ポスターセッション (獣医師：10 題/VT：24 題)、動物病院スタッフセミナー [スタッフセミナー (6 セミナー)、専門学校職員に対するセミナー、スタッフ口頭発表 (21 題)]、産業動物医学フォーラム [教育講演 1, 2、分科会セミナー、一般口演 (19 題)、繁殖セミナー、定例セッション (3 題)、ランチョンセミナー]、企業によるランチョンセミナー (21 セミナー)、企業による特別セミナー (12 セミナー)、小動物臨床血液研究会、小動物臨床栄養学研究会、動物のいたみ研究会、人と動物の比較疾患研究会、動物遺伝子疾患研究会、日本獣医画像診断学会 (検定講習会)、日本獣医内視鏡外科研究会、日本獣医救急医療研究会、日本動物看護職協会、日本獣医学生協会 (JAVS)

主 催：公益財団法人動物臨床医学研究所、動物臨床医学会

小動物臨床血液研究会、小動物臨床栄養学研究会、動物のいたみ研究会、人と動物の比較疾患研究会、動物遺伝子疾患研究会

共 催：日本獣医画像診断学会、日本獣医臨床眼科研究会、日本小動物歯科研究会、日本小動物内視鏡推進連絡会、NPO 法人野生動物救護獣医師協会 (WRV)、日本獣医内視鏡外科研究会、日本獣医救急医療研究会、日本獣医動物行動研究会、一般社団法人日本動物看護職協会、日本獣医学生協会 (JAVS)

後 援：(公社)日本獣医学会、(公社)日本獣医師会、(公社)大阪府獣医師会、(公社)大阪市獣医師会、(公社)鳥取県獣医師会

参加者：獣医師 1, 739 名

VT 468 名

学生 316 名

計 2, 523 名

*その他：企業関係者約 1, 500 名

一般市民約 1, 300 名

b) 学会企画実行委員会の開催及び運営

平成 19 年度より、動物臨床医学会年次大会を構成する分科会 (20 項目) を発足し、平成 24 年度より経営分科会を追加、平成 25 年度には感染症分科会を追加、平成 29 年度には画像診断分科会を加え、昨年引き続き活動を展

開した。

また、耳鼻咽喉科分科会は平成 29 年度より呼吸器分科会と合併した。
(附属資料 5 参照 (p79))

1. 神経分科会
2. 呼吸器分科会
3. 循環器分科会
4. 腎泌尿器分科会
5. 生殖器・繁殖分科会
6. 運動器分科会
7. 消化器分科会
8. 歯科分科会
9. 眼科分科会
10. 皮膚分科会
11. 内分泌分科会
12. 血液・免疫分科会
13. 腫瘍分科会
14. エキゾチックペット分科会
15. 理学療法分科会
16. 野生鳥獣分科会
17. 産業動物分科会
18. 動物病院スタッフ・VT 分科会
19. 行動学分科会
20. 経営分科会
21. 感染症分科会
22. 画像診断分科会

- ・ 主な活動：第 11 回学会企画実行委員会の開催

H29. 11. 19 11:45～12:45

(於：第 38 動物臨床医学会年次大会 第 2 会場)

- ・ 分科会 Award：症例検討発表者を対象に、可能な限り分科会 Award を設置した。

平成 29 年度は、歯科(2 名)、血液・免疫(1 名)、産業動物(1 名)、動物病院スタッフ・VT(3 名)、4 つの分科会が会期中に 7 名の受賞者に授与式を行った。

これまでは当年度に選考し、授与してきたが、平成 30 年度からは当年度に選考のみを行い、翌年の年次大会にて授与することとなった。これに先駆け、平成 29 年度より腫瘍(1 名)、エキゾチックペット(1 名)が選考のみ行われた。

- c) 学会購読会員の管理と把握

◎総会員数 1,440 名 (H30. 3. 31 現在)

*内訳

個人 A 会員	1,035 名
個人 B 会員	137 名
個人 C 会員	32 名
団体会員	32 名
特別会員	163 名
学生会員	4 名
*メンバー(勤務医)	37 名

- ・平成 29 年度総入会者数 59 名／平成 29 年度総退会者数 84 名
- d) 「獣医総合臨床認定医」試験問題作成委員会を立ち上げ、各分科会に試験問題の作成を依頼した。
- 第 39 回動物臨床医学会年次大会において第 1 回認定試験受験の希望がある可能性があるため、試験実施に向けて、具体的な準備にとりかかった。
- e) 動物臨床医学雑誌の出版
- | | | |
|----------------|---------|----------|
| Vol. 26, No. 2 | H29. 6 | (44 ページ) |
| Vol. 26, No. 3 | H29. 9 | (51 ページ) |
| Vol. 26, No. 4 | H29. 12 | (52 ページ) |
| Vol. 27, No. 1 | H30. 3 | (51 ページ) |
- ・年 4 回 (3 月、6 月、9 月、12 月) 出版、内容は学術雑誌の形態 (総説、特別寄稿、原著、症例報告、短報、技術講座、資料、研究施設・海外文献紹介等) をとる。図、表、写真は原則カラーとする。
 - ・投稿論文の採否は、編集委員会の審査によって決定する。審査には査読制 (A, B 2 名のレフリー) を採用。
 - ・雑誌送付先は、購読会員及び大学附属病院、大学図書館、その他団体組織、研究機関等。
 - ・平成 29 年度「動物臨床医学」雑誌編集委員会の開催
(H29. 11. 17 於：リーガロイヤルホテル大阪 [6F：錦の間])
- f) 第 38 回動物臨床医学会年次大会プロシーディングの発行
[H29. 11. 17-19 於：大阪国際会議場 [グランキューブ大阪]
- ・No. 1 (307 ページ)：ベーシックセミナー，ステップアップセミナー，アドバンスセミナー，パネルディスカッション，クリニカルシンポジウム，企業・獣医師向けセミナー (モノクロ写真・図表多数)
 - ・No. 2 (338 ページ)：症例検討 (モノクロ写真・図表多数)
 - ・No. 3 (268 ページ)：市民公開 (特別講演，シンポジウム)，一般口演，ポスターセッション，動物のいたみ研究会，小動物臨床栄養学研究会，人と動物の比較疾患研究会，動物遺伝子疾患研究会，日本獣医画像診断学会，日本獣医内視鏡外科研究会，日本獣医救急医療研究会，日本獣医学学生協会，特別セミナー，ランチョンセミナー (モノクロ写真・図表多数)
 - ・No. 4 (162 ページ)：[動物病院スタッフ・VT] スタッフセミナー，専門学校職員に対するセミナー，日本動物看護職協会，スタッフ口頭発表，ポスターセッション，特別セミナー，ランチョンセミナー
 - ・No. 5 (53 ページ)：[産業動物獣医師] 教育講演，分科会セミナー，繁殖セミナー，定例セッション，一般口演，ランチョンセミナー
 - ・展示広告企業紹介冊子 (37 ページ)
- g) ActiBook CloudSuite (スターティアラボ株) を利用した会員向けプロシーディングデジタル版サービスの開始
- h) 平成 27 年度 (第 36 回動物臨床医学会年次大会) より、幅広い分野の臨床医を育成し、日本の臨床獣医学の発展・向上を図るとともに、人々がより高い水準の獣医療の恩恵を受けられる社会の実現を目指し、獣医総合臨床認定医制度を立ち上げた。今年度も昨年に引き続き、年次大会にてポイント対象プログラムを組み入れる等し、取得を呼び掛けた。

認定委員

委員長：山根 義久
副委員長：下田 哲也
委員：宇野 雄博
委員：小出 和欣
委員：高島 一昭
委員：山根 剛

i) 合同カンファレンス（知の市場）抄録集の発行

・H29.4より合同カンファレンスに併せて発刊

No. 17- 4 H29. 4. 23 (27 ページ)

No. 17- 5 H29. 5. 21 (15 ページ)

No. 17- 6 H29. 6. 10 (10 ページ) * 知の市場対象外

No. 17- 7 H29. 7. 23 (38 ページ)

No. 17- 8 H29. 8. 27 (11 ページ)

No. 17- 9 H29. 9. 10 (15 ページ)

No. 17-10 H29. 10. 30 (34 ページ)

No. 18- 1 H30. 1. 21 (34 ページ)

No. 18- 2 H30. 2. 25 (19 ページ)

No. 18- 3 H30. 3. 25 (11 ページ)

j) 他学会、研究会との連携及び運営支援

積極的に動物臨床医学会との共催を奨励し、併せて他学会との共催及び運営支援をする。

- ・第14回日本獣医内科学アカデミー学術大会（JCVIM 2018）との共催
- ・日本獣医画像診断学会との共催（第38回動物臨床医学会年次大会）
- ・日本獣医臨床眼科研究会との共催（第38回動物臨床医学会年次大会）
- ・日本小動物歯科研究会との共催（第38回動物臨床医学会年次大会）
- ・日本小動物内視鏡推進連絡会との共催（第38回動物臨床医学会年次大会、8月度合同カンファレンス(知の市場)）
- ・NPO 法人野生動物救護獣医師協会(WRV)との共催（第38回動物臨床医学会年次大会）
- ・日本獣医内視鏡外科研究会との共催（第38回動物臨床医学会年次大会）
- ・日本獣医救急医療研究会との共催（第38回動物臨床医学会年次大会）
- ・日本獣医動物行動研究会との共催（第38回動物臨床医学会年次大会）
- ・一般社団法人日本動物看護職協会との共催（第38回動物臨床医学会年次大会）
- ・日本獣医学生協会（JAVS）との共催（第38回動物臨床医学会年次大会）

k) 獣医学術における功労者表彰

選考委員会より推薦された獣医学術の向上、普及に著しく貢献する業績をあげた者及び、優秀な若手研究者に対し、動物臨床医学会年次大会にてAnimal Clinical Research Foundation Award(ACRFA)を授与し、表彰するものであり、我国の獣医学術のさらなる発展を図る事を目的とする。

平成29年度も選考委員会より候補者（2名）の推薦を受け、表彰した。

受賞者：(功労賞) 千村 収一 先生（千村どうぶつ病院，愛知県）
(学術賞) 福島 隆治 先生（東京農工大学）

l) 研究会等の開催・運営

従前通り、獣医学知識の技術の高位平準化に向けて各種の研究会を開催した。

・小動物臨床血液研究会

第48回小動物臨床血液研究会の開催

〔第38回動物臨床医学会年次大会にて(共催)〕

H29. 11. 17-19 (於：大阪国際会議場〔グランキューブ大阪〕)

第 49 回小動物臨床血液研究会

〔第 14 回日本獣医内科学アカデミー学術大会 (JCVIM 2018) にて (共催)〕

H30. 2. 16-18 (於：パシフィコ横浜，神奈川県)

・動物のいたみ研究会

第 1 回運営委員会開催

H29. 5. 19 13:00～14:30 (於：京王プラザホテル，東京)

内容：【報告事項】 1. 平成 28 年度事業報告
2. 平成 28 年度収支報告

【協議事項】 1. 平成 29 年度事業内容についての検討
2. 平成 29 年度収支予算

第 2 回運営委員会開催

H29. 7. 13 13:30～15:00 (於：京王プラザホテル，東京)

内容：【協議事項】 第 38 回動物臨床医学会年次大会内容について
シンポジウム及びセミナーの開催

〔第 38 回動物臨床医学会年次大会 (H29. 11. 17-19) に共催〕

(於：大阪国際会議場 [グランキューブ大阪])

H29. 11. 18 13:45-16:00 シンポジウム開催

H29. 11. 18 16:45-17:45 ベーシックセミナー開催

H29. 11. 18 12:00-13:00 ランチョンセミナー開催

H29. 11. 19 10:15-11:15 スタッフセミナー開催

・小動物臨床栄養学研究会

第 1 回運営委員会開催

H29. 5. 19 15:00～16:30 (於：京王プラザホテル，東京)

内容：【報告事項】 1. 平成 28 年度事業報告
2. 平成 28 年度収支報告

【協議事項】 1. 平成 29 年度事業内容についての検討
2. 平成 29 年度収支予算

第 2 回運営委員会開催

H29. 7. 12 15:30～17:00 (於：京王プラザホテル，東京)

内容：【報告事項】 協賛企業退会について

【協議事項】 第 38 回動物臨床医学会年次大会内容について
シンポジウム及びセミナーの開催

〔第 38 回動物臨床医学会年次大会 (H29. 11. 17-19) に共催〕

(於：大阪国際会議場 [グランキューブ大阪])

H29. 11. 18 15:00-16:00 スタッフセミナー開催

H29. 11. 19 11:45-12:45 ランチョンセミナー開催

H29. 11. 19 14:30-16:45 シンポジウム開催

H29. 11. 19 17:00-18:00 ステップアップセミナー開催

・人と動物の比較疾患研究会

〔第 38 回動物臨床医学会年次大会 (H29. 11. 17-19) に共催〕

(於：大阪国際会議場 [グランキューブ大阪])

H29. 11. 19 9:00～11:15 シンポジウム開催

・動物遺伝子疾患研究会

〔第 38 回動物臨床医学会年次大会 (H29. 11. 17-19) に共催〕

(於：大阪国際会議場 [グランキューブ大阪])

H29. 11. 19 10:15～11:15 シンポジウム開催

2) 獣医師、動物医療従事者の人材育成の推進のため、卒後教育セミナー、合同カンファレンス(知の市場)等を開催し、獣医師、動物医療従事者の研修受け入れ

を行った。

a) 獣医師、動物医療従事者の人材育成の推進のため、卒後教育セミナー、合同カンファレンス(知の市場)の開催

・合同カンファレンス(知の市場)の開催及び運営

毎月1回(11月、12月は除く)、教育講演、症例検討を中心に開催。

平成22年度より「知の市場」連携機関及び開講機関として開催。平成29年度より「知の市場」関連講座として開催した。

4月度(4.23)参加者:メンバー及び関係者31名、オブザーバー4名

於:伯耆しあわせの郷/倉吉動物医療センター・山根動物病院

5月度(5.21)参加者:メンバー及び関係者39名、オブザーバー2名

於:伯耆しあわせの郷/倉吉動物医療センター・山根動物病院

(協力:株AVS)

6月度(6.10)参加者:メンバー及び関係者31名、オブザーバー1名

於:(公財)動物臨床医学研究所

7月度(7.23)参加者:メンバー及び関係者44名、外部参加者35名

於:岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム)

(協賛:ベーリンガーインゲルハイムベトメディカジャパン株)

8月度(8.27)参加者:メンバー及び関係者37名、外部参加者33名

『卒後教育セミナー』於:岡山国際交流センター

(協賛:株AVS/後援:日本小動物内視鏡推進連絡会・中国地区小動物内視鏡懇談会)

9月度(9.10)参加者:メンバー及び関係者29名、オブザーバー8名

於:倉吉体育文化会館/倉吉動物医療センター・山根動物病院

(協力:千寿製薬株/興和株/株AVS)

10月度(10.29)参加者:メンバー及び関係者30名、オブザーバー2名

於:伯耆しあわせの郷

1月度(1.21)参加者:メンバー及び関係者38名、外部参加者30名

於:岡山国際交流センター

(協力:株キリカン洋行)

2月度(2.25)参加者:メンバー及び関係者24名、オブザーバー1名

於:(公財)動物臨床医学研究所

3月度(3.25)参加者:メンバー及び関係者23名、オブザーバー2名

於:伯耆しあわせの郷

b) 獣医師、動物医療従事者等の研修受け入れ

動物医療関係者(獣医師・動物看護師等)に対し、より高度な知識・技術習得のため短期~長期に亘り研修受け入れを実施するものである。

また、当公益法人と強力な関連施設である倉吉動物医療センター・山根動物病院ほか、獣医師法(第16条の2第1項)の規定に基づき、小動物臨床研修診療施設(協力型臨床研修施設)として農林水産大臣より指定を受けていることに伴い、今年度も昨年に引き続き臨床研修を実施し報告した。

さらに、青少年の情操教育を含め、獣医学の意識の高揚のために積極的に、小、中、高校生及び獣医科大学生等の施設見学を受け入れた。

【平成29年度獣医療提供体制整備推進総合対策事業(管理獣医師等育成支援事業)】

*基幹診療施設:倉吉動物医療センター・山根動物病院

*協力診療施設:山陽動物医療センター、セントラルシティ動物病院、小出動物病院、舞鶴動物医療センター、米子動物医療センター

【施設見学・研修受け入れ】

<行政>

鳥取県職員(獣医師5名、技術員3名、その他3名) H29.7.4

<獣医学生>

高畑広美(日本大学6年) H29.5.13-14

【学外・課外研修及び実習受入れ】

<看護学生>

西尾あすか(大阪ペピイ動物看護専門学校3年) H29.5.5-6
阿久井虹穂(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
荒井 邑(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
猪飼 茉耶(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
石原彩由香(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
井上 葉月(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
植野 由渚(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
大谷明日香(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
岡田 彩子(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
衣笠恵理奈(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
佐々木舞子(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
塩路 風薫(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
高垣 太菜(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
橋本日菜子(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
宮部 瑞萌(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
守谷真佑子(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
山根 詩帆(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
吉岡 朝雄(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
米澤 友奈(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
脇 瑞樹(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.6.28-7.2
荒木 瑠奈(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
市橋あゆみ(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
射手園 綾(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
伊藤 栞里(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
垣本 萌花(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
嘉本菜々果(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
川上 知里(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
木下 真由(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
窪田 舞(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
坂井 梨紗(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
里見 彩(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
讚岐田 睦(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
塩田 柚葉(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
篠原明日香(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
島袋 千里(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
竹内 沙耶(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
鶴我ちひろ(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
中西 奈穂(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
韓 世奈(大阪ペピイ動物看護専門学校2年) H29.7.2-7.6
石賀 風香(松江総合ビジネスカレッジ1年) H29.8.5
岡山理科大学専門学校 動物看護学科 3年(6名) H29.11.23
寺坂 友里(大阪 ECO 動物海洋専門学校1年) H30.3.16

<学 生>

可世木七瀬(鳥取県立倉吉総合産業高校2年) H29.7.4-6

植田萌乃加（鳥取県立倉吉総合産業高校 2 年）	H29. 7. 4-6
小林 美咲（鳥取県立倉吉総合産業高校 2 年）	H29. 7. 4-6
岩本 愛香（倉吉市立東中学校 2 年）	H29. 9. 26-28
山本 侑未（倉吉市立東中学校 2 年）	H29. 9. 26-28
中尾 美樹（倉吉市立東中学校 2 年）	H29. 9. 26-28
中本 凜（倉吉市立東中学校 2 年）	H29. 9. 26-28
川口 瑞歩（倉吉市立東中学校 2 年）	H29. 9. 26-28
山口 そら（学校法人松柏学院倉吉北高校 2 年）	H30. 2. 14-16
山川 大弥（琴浦町立赤碕中学校 1 年、他保護者 1 名）	H30. 3. 30

c) 海外からの特別招聘教授、客員研究員の受入れ

3) 臨床獣医学研究の推進のため、診断及び内科的・外科的治療法の開発研究の推進

本公益財団の主要な目的である動物臨床医学研究を推進し、不特定多数の者の利益の増進に寄与するため以下の研究を推進する。

- ・尿毒症症状改善のための治療剤又は治療方法の開発〔東レ㈱〕の共同研究を行った結果、猫慢性腎臓病治療薬「ラプロス」が、平成 29 年 1 月 13 日付けで製造販売承認を取得し、平成 29 年 4 月より発売開始にこぎつけた。
- ・犬の肺高血圧症に対するベラプロストナトリウム（BPS）の適用投与量に関する検討〔東レ㈱〕 H28. 10～

4) 海外との獣医学術振興普及のため国際学術交流の推進

本邦及び海外において、積極的に学術交流に努めた。

- ・第 38 回動物臨床医学会年次大会（H29. 11. 17-19：大阪国際会議場〔グランキューブ大阪〕）
 - ・クリニカルシンポジウム（運動器分野）中国語通訳付きにて開催
「股関節疾患の診断と最新治療」
 - ・アドバンスセミナー（腎泌尿器分科会）中国語通訳付きにて開催
「尿路変更術」

5) 講演会、学会への参加及び講師の派遣

- a) 第 94 回日本獣医麻酔外科学会、第 106 回日本獣医循環器学会、第 61 回日本獣医画像診断学会 春季合同学会（H29. 6. 17-18：埼玉県, 大宮ソニックシティ）

- ・参加：高島 一昭（(公財)動物臨床医学研究所 所長）
- ・参加：山根 剛（(公財)動物臨床医学研究所 理事）

- b) 鳥取県職員研修会（H29. 7. 4：倉吉動物医療センター・山根動物病院）

- ・講演者：高島 一昭（(公財)動物臨床医学研究所 所長）
タイトル：動物愛護の考え方

- c) 第 51 回鳥取県獣医学会（H29. 7. 9：鳥取県立福祉人材研修センター）

- ・発表者：高島 一昭（(公財)動物臨床医学研究所 所長）他
タイトル：ベラプロストナトリウムの猫の慢性腎臓病に対する治療効果
- ・発表者：山根 剛（(公財)動物臨床医学研究所 理事）他
タイトル：UVC パルスキセノンフラッシュ照射により治療を行った肥満細胞腫の 3 例
- ・発表者：河合 紀人（(公財)動物臨床医学研究所）他
タイトル：線維肉腫により骨盤骨折の一部を含む断脚を行った猫の 1 例

- d) 日本獣医麻酔外科学会 中国四国地区講習会（H29. 7. 30：岡山コンベンション）

ンセンター)

- ・参加：高島 一昭 ((公財)動物臨床医学研究所 所長)
- e) 獣医循環器疾患研究会 (H29. 7. 30：札幌グランドホテル)
 - ・参加：山根 剛 ((公財)動物臨床医学研究所 理事)
- f) 平成 29 年度獣医学術中国地区学会 (H29. 10. 14-15：山口グランドホテル)
 - ・発表者：高島 一昭 ((公財)動物臨床医学研究所 所長) 他
タイトル：ベラプロストナトリウムの猫の慢性腎臓病に対する治療効果
 - ・発表者：河合 紀人 ((公財)動物臨床医学研究所) 他
タイトル：線維肉腫により骨盤骨折の一部を含む断脚を行った猫の 1 例
- g) 第 38 回動物臨床医学会年次大会 (H29. 11. 17-19：大阪国際会議場〔グランキューブ大阪〕)
 - ・講演者：氏政 雄揮 (㈱ブイエムスリー 代表取締役)
タイトル：＜経営分科会 アドバンスセミナー＞病院経営のベンチマークを考えるー国内および日米の比較からー
 - ・講演者：氏政 雄揮 (㈱ブイエムスリー 代表取締役)
タイトル：＜経営分科会 ベーシックセミナー＞病院経営をマーケティング目線で見直してみましよう
 - ・講演者：加藤 郁 (加藤どうぶつ病院 院長)
タイトル：＜エキゾチックペット分科会 ステップアップセミナー＞ウサギの歯科治療ー如何にすべきかー
 - ・講演者：桑原 康人 (クワハラ動物病院 院長)
タイトル：＜小動物臨床栄養学研究会＞犬・猫の慢性腎臓病の進行をいかに防ぐかー1. 栄養学的管理ー
 - ・講演者：桑原 康人 (クワハラ動物病院 院長)
タイトル：＜腎泌尿器・神経分科会合同 パネルディスカッション＞犬猫の排尿障害を克服するー3. 神経疾患以外の腎泌尿器系の異常による排尿障害とその治療ー
 - ・講演者：下田 哲也 (山陽動物医療センター)
タイトル：＜血液・免疫分科会 アドバンスセミナー＞一歩進んだ血液疾患診断のアイテム、骨髄検査を基礎から学んでみましよう
P パートⅡ骨髄像より診断する血液疾患
 - ・講演者：高島 一昭 ((公財)動物臨床医学研究所 所長)
タイトル：＜特別セミナー＞猫の慢性腎臓病に対するベラプロストナトリウム (BPS)による治療アップデート
 - ・講演者：竹中 雅彦 (竹中動物病院 院長)
タイトル：＜人と動物の比較疾患研究会＞徹底討論！医師 VS 獣医師「腎臓病を治す、人から、動物から」2. 動物から 猫腎臓病をお薬で治すー猫の慢性腎不全に対するベラプロストナトリウムによる治療ー
 - ・講演者：竹中 雅彦 (竹中動物病院 院長)
タイトル：＜特別セミナー＞猫の慢性腎臓病に対するベラプロストナトリウム (BPS)による治療アップデート
 - ・講演者：藤田 桂一 (フジタ動物病院 院長)
タイトル：＜ランチョンセミナー＞歯科から考える予防医療の重要性
 - ・講演者：藤田 桂一 (フジタ動物病院 院長)
タイトル：＜ランチョンセミナー＞猫に多くみられる口腔疾患の攻略法
 - ・講演者：藤田 桂一 (フジタ動物病院)
タイトル：＜歯科分科会 ステップアップセミナー＞抜歯時のトラブルと
 - ・講演者：毛利 崇 (もうり動物病院)

タイトル：＜エキゾチックペット分科会 パネルディスカッション＞ウサギの腹腔内腫瘍をどう攻略するかー1. ワンマンプラクティスの動物病院における現状

・講演者：山根 義久 ((公財)動物臨床医学研究所 理事長)

タイトル：＜企業・獣医師向けセミナー＞生物と環境ー特に土壌についてー

・講演者：山根 義久 ((公財)動物臨床医学研究所 理事長)

タイトル：＜専門学校職員に対するセミナー＞動物看護関係者が知っておくべき事項ー動物と接することによる効能・効果ー

・講演者：山根 義久 ((公財)動物臨床医学研究所 理事長)

・タイトル：＜日本獣医学生協会(JAVS)共催セミナー＞臨床は先ず症例からー1 症例の積み重ねが大事ー

*その他メンバー及び、メンバー病院に所属する勤務医による症例発表 49 題あり。

h) 島根県平成 29 年度動物取扱責任者研修会

(H29. 11. 13 : 松江市合同庁舎)

・講師：高島 一昭 ((公財)動物臨床医学研究所 所長)

(H29. 11. 24 : 出雲市合同庁舎)

・講師：高島 一昭 ((公財)動物臨床医学研究所 所長)

i) 第 107 回日本獣医循環器学会 (H29. 12. 9-10 : 名古屋国際会議場)

・講演者：山根 剛 ((公財)動物臨床医学研究所 理事)

タイトル：ACVIM ステージ B2 と EPIC リモデリングの基準に関する考察

・参加：高島 一昭 ((公財)動物臨床医学研究所 所長)

j) 平成 29 年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会

(H30. 2. 10-12 : 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ)

・参加：高島 一昭 ((公財)動物臨床医学研究所 所長)

k) The Vet Symposium (H30. 3. 6-7 : フランス, モンペリエ)

・参加：高島 一昭 ((公財)動物臨床医学研究所 所長)

l) 獣医循環器疾患研究会 (H30. 3. 11 : グランドハイアット福岡)

・参加：高島 一昭 ((公財)動物臨床医学研究所 所長)

・参加：山根 剛 ((公財)動物臨床医学研究所 理事)

6) その他

a) 中国地区獣医師会連合会 学会幹事会会議 (H29. 6. 13 : 山口グランドホテル)

・参加：高島 一昭 ((公財)動物臨床医学研究所 所長)

b) 中国地区獣医師会連合会 会長会議 (H29. 10. 13 : 山口グランドホテル)

・参加：高島 一昭 ((公財)動物臨床医学研究所 所長)

公益目的事業 2

公衆衛生の向上及び児童又は青少年の健全な育成及び、動物愛護と福祉を目的とする事業

- 1) 動物の愛護と福祉及び情操教育普及を目的とした、「人と動物の会」による“人と動物の未来センター・アミティエ（鳥取県動物愛護センター）”の事業運営。

本施設では、更なる充実を図ると共に、動物の愛護と福祉の精神の高揚を図り、将来、動物（犬・猫）の殺処分^{ゼロ}を目標に活動を展開した。

- a) 動物愛護思想の向上と動物との共生を推進する事業

- ・里親制度の実施と譲渡講習会の開催

H29. 4. 14	里親講習会開催（於：動臨研 3F）	10 組参加
H29. 5. 12	里親講習会開催（於：動臨研 3F）	7 組参加
H29. 6. 23	里親講習会開催（於：動臨研 3F）	6 組参加
H29. 7. 14	里親講習会開催（於：動臨研 3F）	5 組参加
H29. 8. 18	里親講習会開催（於：動臨研 3F）	6 組参加
H29. 9. 29	里親講習会開催（於：動臨研 3F）	7 組参加
H29. 10. 23	里親講習会開催（於：動臨研 3F）	9 組参加
H29. 11. 27	里親講習会開催（於：動臨研 3F）	2 組参加
H29. 12. 25	里親講習会開催（於：動臨研 3F）	1 組参加
H30. 1. 29	里親講習会開催（於：動臨研 3F）	6 組参加
H30. 2. 19	里親講習会開催（於：動臨研 3F）	5 組参加
H30. 3. 26	里親講習会開催（於：動臨研 3F）	10 組参加

- ・鳥取県（東、中、西部）保健所からの保護動物（犬・猫）の受入れ及び里親への譲渡活動

受入れ	H25 年度	13 頭（内訳：犬 8 頭、猫 5 頭）
	H26 年度	68 頭（内訳：犬 38 頭、猫 30 頭）
	H27 年度	71 頭（内訳：犬 33 頭、猫 38 頭）
	H28 年度	73 頭（内訳：犬 30 頭、猫 43 頭）
	H29 年度	75 頭（内訳：犬 31 頭、猫 44 頭）
譲渡	H26 年度	58 頭（内訳：犬 33 頭、猫 25 頭）
	H27 年度	75 頭（内訳：犬 33 頭、猫 42 頭）
	H28 年度	63 頭（内訳：犬 25 頭、猫 38 頭）
	H29 年度	67 頭（内訳：犬 29 頭、猫 38 頭）

- ・動物の愛護と福祉に関するイベントの開催（チャリティーコンサート、ワンワン運動会、市民公開動物愛護セミナー、フェスティバル（しつけ方教室、保護動物とのふれあい、ペット無料相談））

<アミティエ・フェスタ in April>

開催日時：平成 29 年 4 月 2 日（日） 10:00～14:00

会場：人と動物の未来センター・アミティエ

後援：鳥取県

共催：山根動物病院グループ

来場者：77 名（内訳：大人 50 名、高校生 6 名、中学生 3 名、小学生 12 名、就学前 6 名）

来場頭数：10 頭

内容：しつけ方教室（講師：小田兼司氏（ODA ドッグスクール））、ペット無料相談、保護犬及び猫とのふれあい、里親説明、施設紹介、テラスカフェ

<2017 アミティエ・チャリティーコンサート for Saving Animals>

開催日時：平成 29 年 4 月 16 日(土) (開場 13:30) 開演 14:00

会場：倉吉未来中心 小ホール

後援：鳥取県

来場者：238 名

出演：稲毛麻紀氏、新田恵理子氏、西岡恵子氏、小林圭子氏、
神庭智子氏、加納薫氏、Bix singers、牧田雅子氏、
藤井修美氏、河北中学校吹奏楽部、リトルバイオリ
ニストサークル♪アミティエ

協賛：64 件

<2017 アミティエ・フェスタ (in May) ワンワン運動会>

開催日時：平成 29 年 5 月 7 日(日)

(受付 10:00～) 開始 10:30～15:00

会場：人と動物の未来センター・アミティエ

後援：鳥取県、公益社団法人鳥取県獣医師会

共催：山根動物病院グループ

来場者：304 名

来場頭数：78 頭

内容：WAN WAN レース、だるまさんが転んだ！、陣取りゲーム、
WAN 歴お祝い表彰式、犬のしつけ方教室&デモンスト
レーション (講師：小田兼司氏 (ODA ドッグスクール))、
アミティエわんちゃん紹介、障害物競走、待て!王 決定
戦、WAN 水リレー、ペット無料相談、屋台

<アミティエ・フェスタ in June>

開催日時：平成 29 年 6 月 18 日(日) 10:00～14:00

会場：人と動物の未来センター・アミティエ

後援：鳥取県

共催：山根動物病院グループ

来場者：60 名 (内訳：大人 49 名、中学生 3 名、小学生 7 名、
就学前 1 名)

来場頭数：13 頭

内容：しつけ方教室(講師：小田兼司氏 (ODA ドッグスクール))、
ペット無料相談、保護犬及び猫とのふれあい、里親説明、
施設紹介、テラスカフェ

<アミティエ・フェスタ in July>

開催日時：平成 29 年 7 月 2 日(日) 10:00～14:00

会場：人と動物の未来センター・アミティエ

後援：鳥取県

共催：山根動物病院グループ

来場者：64 名 (内訳：大人 23 名、専門学校生(ペピイ)38 名、
高校生 1 名、小学生 1 名、就学前 1 名)

来場頭数：8 頭

内容：しつけ方教室(講師：小田兼司氏 (ODA ドッグスクール))、
ペット無料相談、保護犬及び猫とのふれあい、里親説明、
施設紹介、テラスカフェ

<アミティエ・フェスタ in August>

開催日時：平成 29 年 8 月 6 日(日) 17:00～19:00

会場：人と動物の未来センター・アミティエ

後援：鳥取県

共催：山根動物病院グループ

来場者：29名（内訳：大人23名、大学生1名、高校生1名、
中学生3名、小学生1名）

来場頭数：9頭

内容：しつけ方教室（講師：小田兼司氏（ODA ドッグスクール））、
ペット無料相談、保護犬及び猫とのふれあい、里親説明、
施設紹介、テラスカフェ

<アミティエチャリティーバーベキュー交流会>

開催日時：H29.8.6(日) 19:00～21:00

会場：人と動物の未来センター・アミティエ

参加者：57名（一般、御招待（地元住民、ボランティア登録者、
その他））

内容：バーベキュー、流しそうめん、花火

<第4回「人と動物の会」アミティエチャリティーゴルフコンペ>

開催日時：H29.9.13(水)

会場：鳥取・大山ゴルフクラブ

参加者：144名

協賛：63件

賞品提供：25件

<動物愛護フェスティバル2017 創立4周年記念 in Amitie>

～みんなが幸せになれますように～

開催日時：平成29年9月24日(日) 10:00～16:00

会場：人と動物の未来センター・アミティエ

後援：鳥取県、公益社団法人鳥取県獣医師会

共催：山根動物病院グループ

来場者：約1,200名

来場頭数：111頭

内容：しつけ方教室（講師：小田兼司氏（ODA ドッグスクール））、
保護犬及び猫とのふれあい、ペット無料相談、里親説明、
施設紹介、出張トリミング（協力：松江総合ビジネスカ
レッジ）、ポニー乗馬体験（協力：NPO 法人鳥取ポニー広
場）、動物の写真コンテスト、犬の体脂肪測定（協力：日
本ヒルズ・コルゲート㈱）、屋台村、アウトレット商品販
売（協力：ペピイ）、クイズラリー、プレイゾーン、ワー
クショップ（迷子札作り）

外部からの出店参加（大山乳業農業協同組合、河原、い
ちご農園ややすけファーム、NIKO. SMILE.、ミケネコロッ
ク、southpaw cats、にゃんて with みーこ、Chez MAOTORA、
ハンドメイドアクセサリー ヴェルシュ、御食事処いま
川）

協賛：57件（大枠40件、小枠17件）

<アミティエ・フェスタ in October>

開催日時：平成29年10月22日(日)

*台風の為、中止

<アミティエ・フェスタ in November>

開催日時：平成29年11月26日(日) 10:00～14:00

会場：人と動物の未来センター・アミティエ

後援：鳥取県

共催：山根動物病院グループ

来場者：59名（内訳：大人41名、高校生1名、中学生1名、小学生9名、就学前7名）

来場頭数：11頭

内容：しつけ方教室（講師：小田兼司氏（ODA ドッグスクール））、ペット無料相談、保護犬及び猫とのふれあい、里親説明、施設紹介、テラスカフェ

<アミティエ・フェスタ in December>

開催日時：平成29年12月17日（日）10:00～14:00

会場：人と動物の未来センター・アミティエ

後援：鳥取県

共催：山根動物病院グループ

来場者：19名（内訳：大人13名、中学生2名、小学生4名）

来場頭数：2頭

内容：しつけ方教室（講師：小田兼司氏（ODA ドッグスクール））、ペット無料相談、保護犬及び猫とのふれあい、里親説明、施設紹介、テラスカフェ

<アミティエ・フェスタ in January>

開催日時：平成30年1月28日（日）

*大雪の為、中止

<アミティエ・フェスタ in February 市民公開動物愛護セミナー>

開催日時：平成30年2月18日（日）13:30～16:00

会場：倉吉駅南口1F多目的ホール

後援：鳥取県、公益社団法人鳥取県獣医師会

共催：山根動物病院グループ

来場者：23名

内容：『人と動物の共生を考えた未来のために』

1. 犬と猫との生活で幸せを掴もう

講師：山根義久（公財）動物臨床医学研究所 理事長）

2. 生活科の学習における身近な動物とのふれあい

講師：多田恭子（北栄町立北条小学校 教諭）

3. 鳥取県の動物愛護管理の現状と取り組み

講師：前田佳奈（鳥取県生活環境部くらしの安心局）

4. 人と動物の未来センター・アミティエの活動報告

講師：高島一昭（（公財）動物臨床医学研究所 所長）

<アミティエ・フェスタ in March>

開催日時：平成30年3月4日（日）10:00～14:00

会場：人と動物の未来センター・アミティエ

後援：鳥取県

共催：山根動物病院グループ

来場者：48名（内訳：大人31名、大学生2名、高校生1名、小学生8名、就学前6名）

来場頭数：7頭

内容：しつけ方教室（講師：小田兼司氏（ODA ドッグスクール））、ペット無料相談、保護犬及び猫とのふれあい、里親説明、施設紹介、テラスカフェ

<2018 アミティエ・チャリティーコンサート for Saving Animals>

開催日時：平成30年3月21日（水*祝）

（開場 14:30）アミティエ紹介 14:55／開演 15:30

会場：倉吉未来中心 大ホール

後援：鳥取県、キングレコード

来場者：387名
 出演：TSUKEMEN
 リトルバイオリニストサークル♪アミティエ
 協賛：企業及び団体59件、個人10件

b) 動物福祉を推進する事業

・動物の訓化活動と、学外・課外研修及び実習等の受入れ

<獣医学生>

鳥取大学インターンシップ（5年生）9名、青菽芳幸（引率、鳥取県職員）
 H29. 8. 28

<動物看護学生>

公益目的事業1 【学外・課外研修及び実習受け入れ】 (P.16-17) 参照

松江総合ビジネスカレッジ（4名） H29. 8. 11

松江総合ビジネスカレッジ（1名） H30. 3. 25

<学生>

鳥取環境大学（高井 亮（教員）、他学生8名） H29. 7. 9

中本 奈月（小学生）（他、引率1名、小学生2名、中学生1名）
 H29. 8. 12

鳥取県立倉吉農業高校生物科2年（1名） H29. 9. 12-15

・施設視察，調査

・アミティエ視察 H29. 4. 18

鳥取県総務部財政課（課長 中西眞治、課長補佐 桑村和行、主事 青砥 聡）、鳥取県総務部行財政改革局業務効率推進課（課長補佐 木村公亮、係長 山本浩二）、鳥取県生活環境部くらしの安心推進課（係長 前田佳奈）

・アミティエ視察 H29. 4. 19

並木良輔（ナミキアニマルクリニック 代表取締役）、玉木栄三郎、小澤慧利子

・アミティエ視察 H29. 6. 1

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株（取締役副社長 堀井秀則、社長室部長 菊野 修、秘書 大内）

・アミティエ視察 H29. 9. 6

鳥取県生活環境部職員（新規採用職員含む）（21名）

・アミティエ視察 H30. 1. 16

南部町役場町民生活科狂犬病担当（陶山博史）

・施設見学

<獣医師 他>

・山下真理子（シモゾノ学園） H29. 7. 16

<学生>

・地元小学生及び保護者（ブルーインター）（19名） H29. 7. 28

・高城小学校1,2年生（24名）、教員（4名） H29. 10. 5

・北条小学校1年生（72名）、学年主任 多田恭子、他引率5名 H29. 10. 31

・関金児童クラブ 小学1-3年生中心（39名）、職員8名
 H30. 3. 30

<その他>

・アーライツ法律事務所（島 昭宏 氏、他5名） H29. 3. 31-4. 2

・樋口 堯彦（一ツ橋大学）、奥野（鳥取大学） H29. 10. 4

・喜多山 繁 H29. 12. 1

・城島光力（元衆議院議員、元財務大臣）、宮崎 徹（東京大学）

- ・“アミティエ” 来場者数（上記来場者、イベント参加者含む）
平成 29 年度 延べ 4, 136 名
- ・“アミティエ” ドッグランの運営（イベント参加頭数含む）
平成 29 年度ドッグラン利用頭数 延べ 499 頭
- ・疾病の予防、診断・治療
全ての保護犬及び保護猫に対し、疾病治療や健康管理に加え、ワクチン接種、避妊去勢手術、マイクロチップの埋設を行った。
- c) 保護観察所における青少年・少女の更生に寄与する事業
 - ・鳥取県保護観察所
(保護観察対象者 5 名、保護司 5 名、保護観察官 2 名) H29. 8. 30
- d) その他
 - ・出版事業、販売事業
 - ニューズレター“アミティエ”の発行
 - Vol. 9 発行 (H29. 5. 31)
 - Vol. 10 発行 (H28. 11. 30)
 - チャリティーコンサート当日パンフレットの発行 (H29. 4. 16, H30. 3. 21)
 - イベント開催案内の印刷（イベント開催に合わせて印刷）
 - ・ボランティアの受入れ
 - H25. 10. 10 一般ボランティアの方々による活動開始
 - H26 年度登録者：14 名
 - H27 年度登録者：25 名
 - H28 年度登録者：19 名
 - H29 年度登録者：27 名
 - ・外部からの持ち込み企画
 - <San'in Sanpo II アミティエチャリティーウォーク at 三朝開催>
 - 協 力：Richard Pearce 氏、新田直子氏
 - 開催日時：H29. 7. 16 14:00～
 - 参 加 者：28 名
 - 会 場：三朝町坂本（東伯郡三朝町坂本）周辺
 - ・ 7km コース（所要時間約 90 分）
 - ・外部企画への参加
 - <長谷の観音市>
 - 開催日時：H30. 2. 18(日) 8:00～12:00
 - 会 場：倉吉市本町通り
 - 内 容：活動紹介、屋台

2) 障害者の支援のため、補助犬（盲導犬等）の育成支援を行う

当基金に賛同する会員が、メットライフ生命（旧：メットライフアリコ）の保険(団体加入)を契約することにより、手数料として所定の費用が“盲導犬育成基金及び野生動物保護管理基金”として、本公益財団に支払われている。

平成 10 年 1 月より開始したこの活動により以下のとおり貸与を行っており、平成 29 年度は 6 号目の貸与に向けて準備を進めた。

- 1 号：H19 年度 ハンナ号（ラブラドルレトリバー）
(協力：社会福祉法人兵庫盲導犬協会)
- 2 号：H21 年度 クラッセ号（ラブラドルレトリバー）
(協力：公益財団法人関西盲導犬協会)
- 3 号：H23 年度 ユノ号（ラブラドルレトリバー）
(協力：社会福祉法人兵庫県盲導犬協会)
- 4 号：H25 年度 ルル号（ラブラドルレトリバー）

(協力：公益財団法人関西盲導犬協会)
5号：H28年度 クエル号 (ラブラドルレトリバー)
(協力：社会福祉法人兵庫県盲導犬協会)

- 3) 獣医事の向上及び普及啓発のため、犬のしつけ方教室、市民相談コーナー、市民公開講座の開催及び情報提供
- a) 普及啓発活動事業
鳥取県及び倉吉市の協力のもと、“人と動物の未来センター・アミティエ(鳥取県動物愛護センター)”でのイベント及び、チャリティーコンサート、講演会、チャリティーゴルフコンペ等を通じて啓発活動を行った。
- b) 犬のしつけ方教室
“人と動物の未来センター・アミティエ(鳥取県動物愛護センター)”でのイベントの中で、ペット無料相談(しつけ・健康)及び、しつけ方教室を定期的に開催した。
- c) 市民相談コーナー、助言相談事業
常時、相談、質問を(獣医療、学術・教育、動物福祉、愛護等に関する質問を市民、動物関連業界、マスメディア、その他関係機関、団体等)受け付け、必要に応じて専門家を紹介した。
平成28年度より開始した、朝日新聞社によるインターネット情報システム「Sippo」でのイヌ・ネコの健康医療相談の回答者として、平成29年度も引き続き協力した。
- d) 市民公開講座の開催
・アミティエ・フェスタ in February 市民公開動物愛護セミナー
公益目的事業2 【アミティエ・フェスタ in February】(p.23) 参照
・第38回動物臨床医学会年次大会
H29.11.17-19(於：大阪国際会議場〔グランキューブ大阪〕)
内 容：市民公開 特別講演
『共に生きる。～犬猫と、野生動物と～』(トークショー)
講師：滝川クリステル
(一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブル)
講師：齊藤 慶輔(猛禽類医学研究所)
- e) 写真展の開催
「sippo 写真展 “みんなイヌみんなネコ”」<協力：朝日新聞社>
朝日新聞社が取材した著名人と愛犬・愛猫など、約100点の写真を展示。
- f) その他
・広島県獣医学術学会 市民公開講演会講師として参加
(於：ホテルグランヴィア広島)
・H29.8.20 高島 一昭((公財)動物臨床医学研究所 所長)
・全国ペット協会会議へ参加(於：東京都内)
・H29.7.25 高島 一昭((公財)動物臨床医学研究所 所長)
・H29.8.9 高島 一昭((公財)動物臨床医学研究所 所長)
・松江総合ビジネスカレッジ 企業・法人ガイダンスへ参加(アミティエ活動紹介)(於：くにびきメッセ, 島根県)
・H29.7.12 秋田 浩司((公財)動物臨床医学研究所 事務次長)
高木 達夫((公財)動物臨床医学研究所)
・2018 ヴィベケ・リーセ JAPAN ツアー(春) [RPTM ブロンズ 2-2、2-3 コース]
受講(於：ヨコハマジャスト1号館, 神奈川県)
・H30.3.31-4.1 高木 達夫((公財)動物臨床医学研究所)

- 4) 学校飼育動物等動物介在活動の支援：幼稚園・小中学校等及び公園等に対する飼育の指導・助言、公開講座、研修会等の開催
青少年の情操教育のためにも、幼稚園をはじめ小中学校、さらに家庭においても動物介在活動の役割は重要である。特に、情操教育による弱者への思いやりが育ち、結果的に“いじめ”の解消につながるため、必要に応じて地域における公開講座・研修会等を開催した。
また、地域より要望があれば、“人と動物の未来センター・アミティエ（鳥取県動物愛護センター）”を開放し、動物との共存・共生の意義を伝えた。
- ・地元小学生及び保護者（ブルーインター）（19名） H29. 7. 28
 - ・高城小学校 1, 2 年生（24名）、教員（4名） H29. 10. 5
 - ・北条小学校 1 年生（72名）、学年主任 多田恭子、他引率 5名
H29. 10. 31
 - ・関金児童クラブ 小学 1-3 年生中心（39名）、職員 8名
H30. 3. 30
- 5) サポーター、フォスターペアレント制による入会金及び寄附の受入れ（東京事務所）、物品の寄付の受付（人と動物の未来センター・アミティエ（鳥取県動物愛護センター））
- 6) “ふるさと納税（倉吉市）”を利用した「平成 29 年度倉吉市動物愛護事業補助金」の交付を受け、事業を充実させた。
- 7) その他
- ・H29. 4. 9 ライオンズクラブ第 63 回地区年次大会 アワード表彰（ガバナー特別大賞）受賞（於：岡山シンフォニーホール）

公益目的事業3

資料及び情報収集・提供事業

- 1) 資料及び情報収集、ニュースレターの発刊
 - a) 動物臨床医学に興味のある者をはじめ、一般の動物飼育者に対しても学術情報を提供する。また、研究員及び共同研究者より依頼のあった文献についてコピーをとり送付。在庫のない文献については、大学図書館等の文献相互利用システムを利用し、研究支援を行った。
 - b) 研究員や関係者より希望のあった獣医学・医学を始めとした専門書及び雑誌については、資料情報収集の一環として、可能な限り購入し供覧した。それらはすべて当公益法人蔵書として図書室に保存した。
 - c) 野生どうぶつ友の会
友の会会員に向けたニュースレター「Pinyo」の発刊（年2回）
野生どうぶつ友の会会員を対象に配布
Vol. 34（H29. 8 発行）
 - d) 心電図解説サービス
会員より解説依頼のあった心電図について、解析から診断、治療までアドバイスを行った。
H29. 4. 1～H30. 3. 31：0件
 - e) 購読会員向けニュースレター「ミューズ」の発刊
会員に対して発刊。本公益財団の動きについて近況を報告。
No. 57（H29. 6. 20 発行）
No. 58（H29. 9. 30 発行）
No. 59（H29. 12. 25 発行）
No. 60（H30. 3. 25 発行）
 - f) 人と動物の会会員向けニュースレター「アミティエ」の発刊
Vol. 9 発行（H29. 5. 31 発行）
Vol. 10 発行（H29. 11. 30 発行）
- 2) 情報等提供対応事業
 - a) 本公益財団の主旨、活動内容、会員動物病院等をホームページ上で紹介。
<http://www.dourinken.com>
E-mail dorinken@apionet.or.jp
〔東京事務所・人と動物の会〕
<http://www.haac.or.jp>
E-mail haac@haac.or.jp
 - b) 学会誌「動物臨床医学」および、動物臨床医学会年次大会プロシーディングをオンライン上の文献検索サイトに登録
科学技術振興機構（JST）
医学中央雑誌
また、平成30年度には、アークレイ(株)との間で、過去5年分のプロシーディングサマリーを閲覧出来るシステムを立ち上げるため、具体的な準備を進めた。
 - c) J-STAGE での電子ジャーナル化
「動物臨床医学」のバックナンバーを J-STAGE 上で公開。順次更新中。
- 3) 本公益法人と他機関・他団体等との情報交換
 - a) ・第48回東京シンポジウム
H29. 7. 12（於：東京，京王プラザホテル）
参加企業：37社（48名）

財団関係者：10名

・第49回東京シンポジウム

H30.3.16（於：東京，京王プラザホテル）

参加企業：45社（62名）

財団関係者：13名

b) 第1回皆様と公益財団法人動物臨床医学研究所との意見交換会

H30.2.2.3（於：ホテルセントパレス倉吉）

参加者：23名

財団関係者：11名

公益目的事業4

地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業

- 1) 野生動物の保護及び管理。自然復帰のための野生動物センターの維持・管理
 - a) 平成 28 年度に引き続き、鳥取県との間に委託契約を結び、傷病・野生動物の保護、管理、治療に努めた。また、ホームページ上でも PR 活動を行った。
 - b) 治療後のリハビリテーションと自然復帰。
 - c) 野生動物保護についての講演活動
 - ・第 38 回動物臨床医学会年次大会(H29. 11. 17-19)
(於：大阪国際会議場〔グランキューブ大阪〕)
市民公開シンポジウム(H29. 11. 19)
〔共催：NPO 法人野生動物救護獣医師協会(WRV)〕
(野生鳥獣分科会合同企画)
『里山崩壊による野生動物の行動範囲の拡大と動物由来感染症の発生について―特にマダニと野生動物―』
 1. 里山崩壊とそれに伴う野生獣の農産物被害の実情
講師：江口 祐輔 (国立研究開発法人 農研機構
西日本農業研究センター)
 2. 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の動物における全国的抗体保有率と感染予防 講師：前田 健 (山口大学)
 3. 現状の国内外における重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の発生状況と今後の対応 講師：水谷 哲也 (東京農工大学)
 - d) 野生動物センターの維持・管理として、牧野内に山羊、羊等を飼育し、併せて幼稚園、小中学生の見学受入れに向けて管理に取り組んだ。
 - ・建物の管理及び、周辺整備の実施
 - ・放牧の山羊、羊の状況
現頭数：山羊 3 頭
羊 1 頭 (毛刈りの実施：H29. 6. 27)
 - e) 平成 29 年度鳥取県愛鳥週間ポスターコンクール審査会へ参加
 - ・H29. 5. 26 坂井 尚子 ((公財)動物臨床医学研究所)平成 28 年度鳥取県野生動物すみかコンクール審査会へ参加
 - ・H29. 10. 25 坂井 尚子 ((公財)動物臨床医学研究所)
- 2) 動物愛護及び情操教育のため、“人と動物の未来センター・アミティエ (鳥取県動物愛護センター)” の維持・管理
鳥取県との間に委託契約を結び、以下の事業の充実を図った。
また、今年度は、団体見学者への対応、市民公開セミナー及びしつけ方教室の開催等のさらなる充実を図るため、鳥取県からの「動物愛護センター施設費補助金」の交付を受け、アミティエ敷地内に新館を完成させた。
 - a) 里親制度の実施と譲渡講習会
 - b) 飼養不可の犬・猫等 (高齢動物・負傷動物等) の引き取り
 - c) 所有者不明の犬・猫等の保護
 - d) 犬猫等のしつけ方、及び飼い方教室
 - e) 動物のふれあい教室
 - f) 動物の愛護と福祉に関するイベント開催
 - g) 動物に関する相談コーナー
- 3) 「人と動物の未来センター・アミティエ」周辺の荒れた山林を整備し、人 (特に子供) と動物さらに自然と触れ合う里山整備に向けて準備を進めた。

収益事業 1

公益目的事業の推進に資するために行う事業

- 1) 一般書、獣医学専門書等の出版
 - a) 一般書（獣医学関連書）の出版
 - ・『イヌ+ネコ 家庭動物の医学大百科』
書籍発売元の㈱パイ インターナショナルを通じてカシオ電子辞書に搭載
H20.1より発売開始。継続販売を行った。
H22よりiphone版、iPad版、Windows版などでの電子化も実現した。
 - ・『<改定版>イヌ+ネコ家庭動物の医学大百科』
H24.11より発売開始。継続販売を行った。
 - ・『イヌ・ネコ ペットのためのQ&A』
H27.12.7より発売開始。継続販売を行った。
 - b) 獣医学専門書の出版
 - ・H26年度から引き続き、「エキゾチックアニマルの疾病と治療」の出版に向けての検討
- 2) 学会出版等に付随する広告・展示募集等
 - ・第38回動物臨床医学会年次大会のプロシーディングへの広告協賛依頼
 - ・第38回動物臨床医学会年次大会会場における展示協賛依頼
 - ・購読会員向けニュースレター「ミューズ」への広告依頼
- 3) 2018 アミティエオリジナルカレンダーの発行 (H29.9)

収益事業2

公益助成委託事業及び受託試験事業

- 1) 新薬開発に係る臨床受託試験
製薬会社における動物用薬品の開発に際し、臨床の現場しか実施不可能な臨床試験を受託して実施。
【継続】
 - a) ピュアバックス® ROPCh-FeLV 使用成績調査 [メリアル・ジャパン(株)]
H29. 2. 1～継続 (H30. 4. 30)【新規】
 - b) ネクスガード® 使用成績調査 (イヌ・ノミ) [メリアル・ジャパン(株)]
H29. 7～H29. 11
 - c) ネクスガード® 使用成績調査 (イヌ・マダニ) [メリアル・ジャパン(株)]
H29. 7～H29. 11
- 2) 新しい診断法及び治療法の開発に係る受託試験
大学及び民間会社との締結のもと、新しい手法による診断法の開発及び治療法の開発。
- 3) その他の調査及び臨床試験
【新規】
 - a) ベッツペッツ・アンチノールの猫の慢性腎臓病使用について [(株)V and P]
H29. 9～継続
 - b) 犬の心臓病に対するパンフェノンの臨床的な効果検討 [(株)スケアクロウ]
H30. 2～継続

収益事業3

- 1) 動物病院への獣医師の出向

法人会計事業・その他

1) 賛助会員の管理

平成 26 年度より当公益法人の事業に賛同する個人と団体に対し、賛助会員制度を設け、今年度も平成 28 年度に引き続き継続及び加入を呼びかけた。

H29 年度賛助会員状況

入会：新規 個人 1 名
継続 団体 28 企業
継続 個人 1 名
退会：無し

2) 第 4 回「人と動物の会」チャリティーゴルフコンペの開催

・H29. 9. 13 於：鳥取，大山ゴルフクラブ（参加者 144 名）

3) 平成 29 年度動物臨床医学研究所懇話会の開催

・H29. 12. 9 於：鳥取県，三朝温泉 旅館大橋（参加者 36 名）

4) 平成 29 年度親睦会の開催

・H29. 6. 11 於：鳥取県東伯郡北栄町海岸

補助金及び、助成金の申請・受入れ状況

1) 補助金受入れ

- ・平成 29 年度鳥取県動物福祉推進事業補助金
- ・平成 29 年度動物愛護センター施設費補助金
- ・平成 29 年度倉吉市動物愛護事業補助金

2) 平成 30 年度(2018 年度)研究成果公開促進費(研究成果公开发表(B))の申請

第 39 回動物臨床医学会年次大会市民公開シンポジウム

「あなたとペット動物の災害対策 ―特にペットとの同行避難の為に―」

1. 阪神・淡路大地震（平成 7 年（1995 年）1 月 17 日）時における動物達への対応 ―具体例と問題点―

講師：富永佳与子（公益社団法人 Knots 理事長）

2. 東日本大地震とそれに伴う津波（平成 23 年（2011 年）3 月 11 日）等における動物達への対応 ―従来よりの改善点と新たな問題点―

講師：河又 淳（千葉小動物クリニック）

3. 熊本大地震（平成 27 年（2016 年）4 月 14 日）時における動物達への対応 ―過去の大地震で参考になった点と新たな問題点―

講師：船津 敏弘（動物環境科学研究所）

4. 新しい「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」と将来への対応

講師：則久 雅司（環境省自然環境局）